

令和6年度事業計画

1. 基本方針

我が国の総人口に占める65歳以上の高齢者割合は、過去最高の29.1%に達しております。

一方、東部広域シルバー人材センター(大月・都留・上野原)においても、65歳以上の占める割合は、(令和4年度末)36.9%と毎年上昇している傾向であります。

令和3年の法律改正で65歳までの雇用確保義務化や、希望者の70歳までの就業確保の協力義務化を鑑みて、会員の拡大を重点とするとともに、企業の退職(予定者)層への働きかけを強化するなど、対象を絞った取組み等により会員拡大や就業機会の確保にも積極的に取組み事業運営を図ってまいります。

さらに、シルバー事業を巡る課題として、デジタル化の進展に対応した事業展開が挙げられます。

^{ウェブ}**WEB**(ワールドワイドウェブ)(テキスト・動画・画像等の閲覧を可能にするシステム)入会システムの導入や、会員に対する就業情報の提供等は、利便性の向上とともに事業の効率化につながるものです。

また、本年秋に施行が見込まれるフリーランス新法に的確に対応するためにも、デジタル化の取り組みは急務であります。

併せて、このための基盤整備として、会員のデジタルリテラシー(分野に関する知識や能力する力)向上のための取り組みを行ってまいります。

本年は、インボイス制度に加えフリーランス新法対応に伴う契約方法の見直し等、センターにとって経営判断を迫られる場面が続くと予想されますが、センター役職員および会員、組織一丸となって積極的に取り組んでいく必要があります。

さらに、地域社会に貢献していただけるよう、発注者や地域社会から信頼と存在感を得るためにも、会員の高齢化が進む中、従前にも増して安全・適正就業の確保にも一層取り込んでまいります。

今後も、センターを取り巻く状況は大変厳しいものでありますが、労働力の減少している現状を踏まえ一人でも多くの会員が就業し、地域社会に必要とされるシルバー人材センターを目指し、次の通り事業を推進してまいります。

2. 事業運営体制の充実

事業発展のため国・県・市の行政をはじめ全シ協・県連合会・県内各シルバーセンター等関係団体と連携をとり各事業運営体制の充実を図ります。

- ・大月市、都留市、上野原市の構成市と連携を密にして、事業運営の充実を図る。
- ・財政運営基盤の強化を図る。
- ・役職員研修を積極的に実施し、資質の向上を図る。

3. 事業計画

安全がすべてに優先することを合言葉に、一人ひとりが自覚し安全就業に徹し、事故の未然防止を図るため以下の項目について取り組む。

(1) 安全・適正就業対策の推進

- ・安全管理の徹底（一声・声掛運動）を図る。
- ・安全就業強化月間中の目標設定を行う。
- ・各種情報提供を図る。
- ・現場リーダーが中心になって、就業手順・安全確認等に努める。
- ・安全巡回を実施し、安全指導及び安全用具等の使用徹底に努める。
- ・安全委員会で事故発生の要因分析、再発防止への対策を行う。
- ・安全就業研修会を開催する。
- ・安全委員会に適正就業に係る取り組みを加え、ガイドラインに基づく就業の適正強化を図っていく。
- ・月間「安全だより」の充実と発行を行う。

(2) 公正・適正就業の推進

シルバー事業の基本である、臨時的かつ短期的な就業、または軽易な業務を再確認し、公正・適正な就業機会を推進します。

- ・適正な契約の受託
- ・適正就業ガイドラインに従い適正就業を推進します。
- ・長期就業会員の公正・適正化とワークシェアリング及びローテーション就業を推進します。